



4月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
令和 5年 4月 3日

* 保育目標

信順

・喜んで元気に登園し、お友だちと遊ぶことを喜ぶ。



【法話】 おめでとうございます。

新入園児のみなさん、さやま保育園へのご入園、おめでとうございます。在園児のみなさん、進級おめでとうございます。桜満開のなか、新しいお友達を迎え、さやま保育園の新しい1年が始まります。いろいろな出遇いとおし、心身ともに大きく成長されることを心から願っています。

さやま保育園では、仏教的情操教育真宗保育を根底においた「まことの保育」を行っています。「まことの保育」の理念は、「親鸞聖人の生きかたに学び、生かされているいのちに目覚め、ともに育ち合う」保育です。

保育園は、子どもが社会に出る第一歩です。子ども達の「豊かな心」の成長を願い、さやま保育園では、「いっしょに楽しい子育てを」のテーマのもと、保育を行っています。「子育ては楽しいもの」でしょうか？楽しいときもあるでしょうが、悩んだり、苦しんだり、辛かったり。そんな時は、決して1人で悩まず、保育園に、どんな小さな事でも、ご相談ください。子どもを育てる」というよりも、子どもたちと、保護者の皆さまも職員も、「共に育ち」、「共に育み」合う場だと思っています。 合 掌

* 新年度のスタートです *

あたたかな春風とともに、桜が咲きはじめ、広場にはタンポポも咲き、保育園の森の中からうぐいすの歌が聞こえ、園庭にはダンゴムシもやってきて、みんなが元気に保育園に来てくれることを、待っています。

さて、新年度のスタートです。ぞう組(3・4・5歳児)38名、きりん組(3・4・5歳児)39名、うさぎ組(2歳児)11名、りす組(1・2歳児)14名、あひる組(1歳児)11名、ひよこ組(0歳児)5名、計118名のお友だちで、令和5年度のさやま保育園がはじまります。

金曜ドラマの「リエゾン」の中で、児童精神科医が「子どもたちの診察をする時にね、まず初めに考えるのは、名前の意味。花の名前に意味があるように、子どもたちの名前にもたくさんの意味が込められている。」と話されます。お父さんお母さん、家族の愛情に包まれた、一人ひとつの素敵な意味が込められた名前。そして、そんな素敵な愛情や願いを持った、一人ひとりのお子様を、お預かりする重責をいただきました。

子どもたち一人ひとりが持っている素敵な個性が、一人ひとりが生まれ持った無限の可能性を、100%いかしていけるような、そんなさやま保育園を目指して、職員35名チームとなって、一人ひとりのお子様寄り添った保育に精進させていただきたいと存じます。どうぞ 1年間よろしくお願ひいたします。



令和5年度 保育目標

- ・子ども達が、遊びや生活の中での中で、「やりたい」「やってみたい」(主体性)が、じゅうぶんできる環境を作る。
- ・異年齢の関りを通して、社会性や協調性、思いやりの心を育て、興味や関心、友達の幅を広げる。
- ・SDGsに興味関心を持ち、日々の生活の中に取り入れることができる。

